

5 (20点)

平成26年度における次の取引をもとに精算表を作成しなさい。

- ① 事業未収金327千円を現金で回収した。
- ② 未収補助金5,015千円が普通預金に振り込まれた。
- ③ 事業未払金3,675千円が普通預金から引き落とされた。
- ④ 職員から預っていた源泉所得税等330千円を普通預金から支払った。
- ⑤ 給食用材料2,887千円と事務用消耗品655千円を掛けで購入した。
- ⑥ 職員に仮払いしていた10千円につき、研修旅費8千円の領収書とともに、残金2千円を受け取った。
- ⑦ 老人福祉事業の措置費として20,344千円の振込を受けた。
- ⑧ 事務用の軽自動車(車輛運搬具)を1,084千円で購入し、普通預金から支払った。
- ⑨ 常勤職員の給与4,790千円、諸手当252千円と非常勤職員の給与1,628千円から、源泉所得税115千円と社会保険料523千円を預かって、残額を普通預金から支給した。
- ⑩ 常勤職員の賞与9,580千円から、源泉所得税502千円と社会保険料914千円を預かって、残額を普通預金から支給した。
- ⑪ ⑨と⑩の社会保険料の預り金と事業主負担分を併せて、2,958千円を普通預金から支払った。
- ⑫ 施設のパンフレット作成を業者に依頼し、印刷費を含めて298千円を小切手で支払った。
- ⑬ 前期末に徴収不能引当金を計上していた事業未収金15が徴収不能となった。
- ⑭ 厨房機器一式のリース料1,520千円(5年リースの契約、期首で1年6ヶ月経過している)が、普通預金から引き落とされた。ただしリース債務の返済時には、1年以内返済予定リース債務を減額する処理を行っている。また、有形リース資産及びリース債務はリース料総額で計上され、支払利息は計上されない方法によっている。
- ⑮ 1年基準により、リース債務残高から1,520千円を流動負債に振り替えた。
- ⑯ 老人福祉事業のための補助金5,987千円と利用者の利用料分292千円を未収とした。
- ⑰ 預金利息36千円が普通預金に入金された。
- ⑱ 保有している帳簿価額1,245千円の有価証券を時価1,222千円に評価替えした。
- ⑲ 事業未収金残高について、過去の徴収不能額の発生割合である4%の徴収不能引当金を計上した。
- ⑳ 固定資産につき、次の減価償却を行った。

建 物	2,612千円
車 輛 運 搬 具	452千円
器具及び備品	2,123千円
有形リース資産	1,520千円

同時に、建物の減価償却費に対応する国庫補助金等特別積立金1,622千円を取り崩した。